

## 安心のために

大東消防署消防課 通信指令室  
消防士長 山口将司(平成21年入職)



### 交通事故をきっかけに

私が高校生の時、バイクを運転中に交通事故に遭いました。その時、胸を強く打ったことにより肺を損傷し、救急隊が到着するまでの間、呼吸がまともにできず苦しく心細かったことを今でも鮮明に覚えています。幸い救急隊により迅速に病院へ救急搬送され一命を取り留めることができました。病院のお医者さんから「後10分でも病院到着が遅ければ助からなかったかもしれない。」と話を

聞きました。そのことがきっかけで私も人を助ける仕事がしたいと思い消防を目指すようになりました。救急救命士という資格を専門学校で取得し、地方の消防本部で消防士として三年間勤務していましたが、地元の大東で消防の仕事がしたいと思い、当時の大東市消防本部での採用試験を受けて合格し現在に至ります。

### 通信指令室としての心掛け

大東市消防本部に平成21年に入職し、救急隊に配属され約10年間勤務し、現在は通信指令室で勤務をしております。通信指令室の勤務内容は主に119番通報を受け、通報者を落ち着かせながら必要な情報を聞き出し、災害現場に対応できる出場車両を選択し、聞き出した情報を出場隊に届けることです。また、災害により困っている人に一番早く応えてあげること



ができる仕事であり、多種多様な災害に対して消防の初動体制を選択し決断する重要な仕事だと思っています。通報者から通報内容を聞く際には、通報者がどんな方かを意識しています。子供には子供にもわかり易い話し方、高齢の方には耳が悪くても聞き取りやすい話し方など、お互いの意思疎通がとれるように、そして少しでも会話の中で通報者の動揺が和らぐように会話することを心掛けております。

### 受験生のみなさんへ



私が消防士を目指そうと思ったと同時に不安もありました。消防士としてやっていけるのか、向いてないのではないかと自問自答したこともあります。消防士の仕事の中には、様々な仕事があり、自分にあった仕事がきっと見つかると思います。同じ消防職員となって会える日を楽しみにしています。

